

議題（１） 令和３年度（１２月まで）の状況について

１ 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
４月	２６日間	３，０３４人	企画展「歴史へのいざない」開始（４/２４～）
５月	２６日間	２，１００人	
６月	２６日間	２，３５１人	企画展「歴史へのいざない」終了（～６/６）
７月	２７日間	２，８６８人	企画展「戦時下の刈谷」開始（７/１７～）
８月	２６日間	３，１１８人	企画展「戦時下の刈谷」終了（～８/２９）
９月	２５日間	１，３９５人	
１０月	２７日間	３，２５５人	企画展「豊臣秀次」開始（１０/９～）
１１月	２４日間	３，２７９人	企画展「豊臣秀次」終了（～１１/２１）
１２月	２４日間	１，４０９人	
１月	—	—	
２月	—	—	
３月	—	—	
合計	２３１日間	２２，８０９人	

４月２９日（開館５６５日目） ９万人達成

８月２６日（開館６６７日目） １０万人達成

2 企画展開催事業

刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) 歴史へのいざない-佐藤コレクションの魅力-

ア 会 期 令和3年4月24日(土)～6月6日(日) (開催日数38日間)

※令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、今年度開催した。

イ 観 覧 料 無料

エ 観覧者数 3,259人

オ 展示品数 45点

カ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

キ イベント 講演会

・5月4日(火・祝)「惟任(明智)光秀と丹波—その攻略と統治の展開—」

講師：柴裕之氏(東洋大学文学部非常勤講師)(聴講47人)

・5月29日(土)「秀吉と家康」

講師：跡部信氏(大阪城天守閣研究副主幹)(聴講42人)

講座

・5月9日(日)展示解説

講師 山下智也(当館学芸員)(聴講23人)

この他に判じ絵クイズラリーや、簡単工作(立版古)を実施

(2) 戦時下の刈谷-人びとの暮らしと記憶-

ア 会 期 7月17日(土)～8月29日(日) (開催日数38日間)

※令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、今年度開催した。

イ 観 覧 料 無料

エ 観覧者数 4,099人

オ 展示品数 150点

カ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

キ イベント 講演会

・7月31日(土)座談会「戦時下での暮らしと、その後」

出演者：柘植豊徳氏(元小中学校教諭)、

山田孝氏(刈谷市文化財保護審議会会長)

コーディネーター：井筒康人(刈谷市郷土資料館学芸員)(聴講47人)

イベント

おはなし読み聞かせの会、ギャラリートーク、ミュージアムシアター「この世界の片隅に」上映や郷土資料館と共催でクイズラリーを行った。

(3) 豊臣秀次展－刈谷に新時代をもたらした関白殿下－

ア 会 期 令和3年10月9日（土）～11月21日（日） （開催日数38日間）

イ 観 覧 料 一般（高校生以上）300円、中学生以下・障害者無料

ウ 観覧者数 3,522人

エ 展示品数 37点（重文2点、京都府指定2点、刈谷市指定5点含む）

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1冊1,000円）

カ イベント 講演会

・10月23日（土）「豊臣秀次と尾張・三河」

講師：播磨良紀氏（中京大学教授）（聴講64人）

・11月6日（土）「秀次切腹と豊臣政権」

講師：谷徹也氏（立命館大学准教授）（聴講63人）

展示説明会 11月13日（土）

講師：当館学芸員（聴講23人）

予定していた能楽体験「豊臣秀次が愛した“能楽”って何だろう？」は中止。

この他に、ギャラリートークを実施した。

3 常設展開催事業

歴史ひろばのテーマ（刈谷の縄文時代、刈谷藩と城下町、刈谷発の近代化）ごとに年4回展示替えを行い、刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開。展示替えごとにギャラリートークを行った。

4 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

令和3年5月から毎月1回開催

例) 香袋を作ろう（お香入門）、有松・鳴海絞り体験 など

(2) 簡単工作の開催（土日祝）

はにわストラップ、オリジナルうちわ、折り紙「かきつばた」「寅」 など

(3) ミュージアムシアターの開催

講座室にて映画上映を行った。

(4) 出前講座

教育委員会生涯学習課を通して依頼。学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元で講座を行った。

(5) 古文書解読講座（初級編）の開催

学芸員が交代で講師となり、1～3月にかけて全5回の講座を実施。

5 小中学生の館内見学・体験学習の支援

小中学生を対象に見学の機会を提供し、郷土の歴史文化に関する学習の支援。

- ・ 中学校1年生の「歴史ひろば」及びバックヤード見学（5月～7月）
他、子ども向けの歴史相談や体験講座を行った。

6 博物館事業の啓発・広報

(1) 歴史博物館ホームページ

展示やイベント、利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。

(2) 市民だより

企画展や関連するイベント、歴史体験講座の案内等を随時掲載。

歴史散歩（収蔵品を紹介、毎月1日号）。

(3) 博物館ニュース

企画展の案内や企画展に関する小論等を掲載。

年3回発行。9月末、12月末、3月末に発行。

(4) 年報

博物館の概要・組織、その年度の予算・実施事業・活動結果報告などを掲載。

10月1日に第2号を発行。（郷土資料館分と合冊）

またホームページにも掲載。

(5) 研究紀要（有料）

刈谷の歴史に関わる調査研究や、博物館の活動成果を掲載。

今年度末に第2号を発行予定。

(6) 物品販売

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、発掘成果報告書、市史関連DVD刈谷偉人伝等を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。

7 市史資料整理活用事業

(1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存

(2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作

(3) 資料閲覧室における閲覧対応

8 発掘調査出土遺物整理活用事業

(1) 出土遺物の注記・接合作業

(2) 宅地建設等に伴う試掘、及び緊急発掘調査

(3) 発掘調査成果をまとめた報告書の刊行

(4) 井ヶ谷古窯群分布調査

9 資料の寄贈・寄託

- (1) 個人宅や寺社等からの依頼による調査
- (2) 資料の寄贈・寄託手続き

10 資料の購入

資料収集方針に基づき、刈谷の歴史に関わる重要な資料を古書店等から購入。

関ヶ原合戦絵巻 計 1点

※8月に購入検討委員会を開催し、購入した。

11 博物館資料の保存管理

- (1) 館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）
IPMの手法を用い、館内のモニタリングと虫害防除策を実施。
- (2) 収蔵品の修復、及び什器の制作
- (3) 資料の燻蒸（令和3年度2回実施）
受贈資料を中心に、虫害の発生が懸念される資料に関して、環境負荷の少ない方法での燻蒸を実施。

12 学芸員による調査・研究

13 郷土資料館との連携

郷土資料館における展示、歴史博物館常設展示において学芸員及び指導主事により連携を図った。また夏休みのイベントとして郷土資料館と連携してクイズラリーを行った。

14 その他

- (1) 団体見学・視察受入
- (2) 刈谷城盛上げ隊の出演
月1回、エントランスロビー等でグリーティングを行い、来館者との触れ合いの場をもうけた。
- (3) 来館者10万人達成イベント
歴史博物館の来館者が10万人を超えたことを記念し、8月28日にセレモニーを開催し、当日に来館した代表の家族に記念品を贈呈した。